

承継開業サポート

「最近承継開業が増えていると聞きますが、本当に良いものでしょうか」と勤務医のN先生にご質問頂きました。

承継開業と新規開業の違いを具体的に知りたい。また承継開業の メリットやデメリットを詳しく教えて欲しい。

承継開業を目指して動きたいが、どのように承継先を探したらよいのかわからない。知らない業者の紹介案件は不安がある。

承継したい先は見つかったが、どのように交渉すればよいのかわからない。必要な手続きも相手の言いなりで良いのか不安である。



私たちの考え方

承継開業において無事に承継することはゴールではなくスタートです。

承継開業と新規開業の一番大きな違いは、開業にあたって他者の意思決定が自分に大きく影響することにあります。様々な交渉が必要であり手間がかかる反面、一定の患者がいる状態での開業は安心してスタートできます。

承継先を紹介してくれる業者は世の中に数多くあります。但し、開業後もブレーンとして経営をサポートしてくれる会社の方が安心感があると考えます。

承継開業は承継先が見つかってからが本番です。相手との交渉や行政手続、資金調達等様々なことが待ち受けています。自分一人で解決するのではなく、専門家を有効活用することをお勧めします。

お役立ちポイント

- 承継候補先の探索だけでなく、交渉・手続き等もクリニックに精通したコンサルタントがご支援します。
- 承継時だけでなく開業後も、会計顧問を通じて長期的に先生方をご支援する体制があります。

無料

無料で開業相談いたします

ご希望の開業プランについて弊社コンサルタントに無料でご相談頂けます。



サービス概要

承継開業のすべてを当社が責任を持ってサポートします。

STEP
1

承継先を探す

先生方の希望をヒアリングした上で、ご希望の承継案件をご提案します。弊社独自の医療機関マッチングサイトもあり、厳選した案件をご提示します。

STEP
2

承継先と交渉する

引継ぐ側の先生との条件交渉の助言やご面談の設定等を行います。場合によっては引き継ぐ資産の状況や提示された数字等の精査を行うこともあります。

STEP
3

承継先との条件をまとめ承継する

最終的な条件を契約書にまとめていきます。その間に資金調達や事業計画の策定、行政手続き等のサポートも随時行っています。

STEP
4

会計顧問(承継後)

承継後も会計顧問を通じて長期的にクリニック運営をサポートしていきます。

ご予算

承継案件の事業規模や難易度に応じて個別にお見積もりいたします。

ケーススタディ

承継開業のパターンは色々あります。

医療法人を承継する

売上規模も1億円を超えており、営業権が高かったものの事業計画からは10年以内に借入の完済も可能と判断し、交渉をスタートしました。

交渉の過程で引退される先生の想いを理解する姿勢が好印象で、スムーズな患者引継の協力も得られました。

収入もほぼそのままの盛況した状態で承継開業が実現できました。

土地建物も承継する

診療所の土地建物も併せて承継してほしいとの要望がありました。当初借入額は増えるが、今後の家賃等を考慮すると割安と判断し承継に踏み切られました。

自前で広い駐車場を保有したことで患者の利便性確保に繋がりました。

借入返済後は家賃の発生がないため資金増加のスピードが上がりました。

スピーディな事業拡大

収益力が高い医療法人を承継し2年で分院展開をしました。営業権は高かったものの、早い段階で営業権以上に資金が溜まりました。

開業当初より事業拡大を目指していたこともあり、2年後には分院を開設することができました。

当初より患者がいる承継開業だからこそ、早期に分院開設が可能になりました。

※実例をもとにしていますが、内容が特定されないように適宜変更してご紹介しています。

お問合せ先

日本経営グループ 税理士法人日本経営 (平日9:00 ~ 17:30)

大阪事務所

大阪府豊中市寺内2-13-3

東京事務所

東京都品川区東品川2-2-20
天王洲オーシャンスクエア22F

TEL 06-6868-1164

TEL 03-5781-0706

より詳しく
知りたい方は
こちらよりHPをご
覧ください。

